

海外生活 エッセー

ソウル事務所

世界が広がる！「語学堂」での韓国語学習

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 菊池 さやか (茨城県派遣)

「語学堂」とは、外国人や海外在住韓国人に韓国の言語と文化を教え、韓国への理解を深めるために運営されている、大学付属の教育機関です。一言で「語学堂」と言っても、大学によって教育方針やカリキュラム等に違いがあるのですが、今回は、私が入学した延世大学語学堂夜間課程での体験をご紹介します。

→ 延世大学語学堂のシステム

延世大学語学堂は、1959年4月に設立され、韓国語教育の専門機関としては最も古い歴史を持っています。カリキュラムは正規課程、夜間課程、最上級韓国語課程、夏季特別課程、3週間短期課程、大学韓国語課程が設けられており、自身の韓国語習得目的や達成目標、時間の都合等個々の事情に合った課程を選択することが可能です。

私が履修した夜間課程は、韓国に滞在している外交官および大使館職員、外国人教授、企業の駐在員、報道機関の特派員、宣教師など、韓国語の勉強を持続的に続けたいと考えていても、業務時間や個人的な事情で日中(正規課程)の授業を受けることができない学生を対象に、体系的で効果的な韓国語教育を夜間に提供するため開設された課程です。1日約3時間(18:30~21:05)を週3日、10週にわたって全90時間こなす内容となっており、レベルは1級から8級まで8段階に設定されています。入学前に受けるクラス編成テストの結果によって、1クラス13人程度に分けられ、それぞれの韓国語能力に応じた学習を行っていきます。授業料は2017年度基準で867,000ウォン。授業に3回遅刻した場合、1回の欠席とみなされ、出席が全授業時間の80%(72時間)未満だった場合には、進級することができません。また、学期末テストにおいて、会話、作文、

聞き取り、読解の各科目で全て6割以上の点数が取れなければ同じく進級ができないため、得も言われぬ緊張感があります。

→ 様々な国籍のクラスメイトと切磋琢磨

私は2016年の夏学期(6月~8月)に4級を、2017年の冬学期(1月~3月)に5級を履修しましたが、クラスメイトはいずれも10人前後で、半分は日本人、残り半分はアメリカ、カナダ、中国、台湾、クウェートと国籍は様々。年齢も20代前半から50代後半までと幅広い層が履修していました。

週3回、退勤後すぐに語学堂に向かい、約3時間の授業を受けるのはなかなか骨が折れましたが、自分とは違った感性を持つ、意識の高いクラスメイトの存在が刺激となり、楽しく学習することができました。また、「語学堂では韓国語以外使ってはいけない」というルールに忠実に従い、休み時間や帰り道に日本人同士で話す場面にもそれを徹底しながら切磋琢磨しました。

おかげで学期末を迎える頃には韓国語能力が向上したばかりでなく、良い友情関係を築くことができたと思います。語学堂でだからこそ得られた貴重な経験、大切な出会いに感謝しています。



延世大学語学堂の学舎